

# コルテバ・アグリサイエンス 2030 年に向けたサステナビリティ目標生産者

土壌の健全性、養分と水の責任ある管理、生産性の成功事例に関するトレーニングを 2,500 万人の生産者に提供

- 当社では加算計数手法を使用して、この目標達成に向けた進捗を数値化します。
- さまざまなトピック（土壌の健全性やウォーター・スチュワードシップなど）に関する内容に生産者が繰り返し触れることに意味があります。
- 教育モジュールまたは知識伝達の継続を通じて当社が生産者と交流するたびに、その回数を進捗として計数します。その際に生産者個人を特定するような措置は実施しません。
- この目標に向けてこのトレーニングで提供される内容は、土壌の健全性とウォーター・スチュワードシップに関連する他の多くの当社目標の達成要因となります。

# コルテバ・アグリサイエンス 2030 年に向けたサステナビリティ目標生産者

2030 年まで累計 5 億人の小自作農生産者の生産性、収入、持続可能な農業手法を向上

- 当社では加算計数手法を使用して、この目標達成に向けた進捗を数値化します。生産性、収入、持続可能な農業実務を充実化するための重要で計画的なサポートによって当社が小自作農生産者と交流するたびに、その回数を進捗として計数します。その際に生産者個人を特定するような措置は実施しません。
- このような結果の達成に生産者が携わるたびに意味のある効果が得られます。当社の目的は、このような結果が長期間にわたって持続することを示すことにあります。
- 「小自作農生産者」の定義として広く受け入れられているものではありません。Corteva では、小自作農生産者の基準として作付面積を採用することはありません。
- 当社では、FAO、世界銀行、政府機関によって通知された各国固有の基準を信頼しています。具体的には、資源の可用性、脆弱性、貧困、食糧安全保障を考慮した「小自作農生産者」の定義です。
- 持続可能な農業手法とは、次の活動を指します。
  - 十分な食糧供給生産の実現
  - 貧困の緩和
  - 人口増加に対応したより良い健康と栄養の実現
  - 天然資源の保全
- 当社では、開発に携わる各種の組織と機関とのパートナーシップを活用し、重要な地域における基準となる農業プログラムを確立する計画をしています。
- 基準となる農場をもとに、小自作農生産者の生産性、収入、持続可能な農業手法を定量化します。

# コルテバ・アグリサイエンス 2030 年に向けたサステナビリティ目標生産者

作付システムからの地球温暖化ガス排出量を 2020 年に対して 20% 削減すると同時に、同年との比較で 20% の収穫量増加を生産者が持続できるようにする管理システムを設計、検証、評価

- 単年の影響を平準化するために、当社では 3 年間の平均値を使用して、この目標に対する進捗を判断します。
- 収穫量の増加は長期間にわたって続くので、サステナビリティについて設定した他の目標を阻害するような連鎖効果を引き起こすことはありません。
- 収穫量の改善と地球温暖化ガスの削減を追求するための戦略として特に重要なものは、作付システムの改善、管理の改善、投資の最適化、デジタル技術による意思決定補助です。
- この目標の優先的な対象となる作付システムは次のとおりです。
  - キャノーラ
  - トウモロコシ
  - 綿
  - 米
  - 大豆
  - ヒマワリ
  - 小麦